

とっちゅうだよ

R3.3.26 No11

文責:校長

本日、修了式を行いました。

コロナ禍の中でも、成長が見られた土々呂中

令和二年度は、「新型コロナウイルス」や「新しい生活様式」などのことばが当たり前のように使われるようになり、マスク着用が日常茶飯事となりました。世界的に猛威を振るった新型コロナウイルスの影響により、東京オリンピックが一年延期となり、身の回りで行われていた様々な行事や催事も中止や延期せざるを得ない状況となっています。

学校においても、臨時休校や学校行事の中止・縮小、部活動中止など大きな影響を受けました。

一年生においては、入学式は何とか実施できたものの、入学してまもなく臨時休校となり、本来なら徐々に中学校生活に慣れていく貴重な期間が、丸々奪われる形となりました。部活動も、例年であれば仮入部期間を設け、じっくりと自分に合った部活動を選ぶところですが、今年度はそれもありませんでした。いろんな意味で、今年度の一年生には大きな負担をかけてしまったと思います。そんな中でも一年生は中学生らしく立派に成長し、頼もしい存在になってきました。

二年生においては、中学校生活で一番楽しみにしていた修学旅行を、二度にわたって延期を決めました。

最終的に中止をせざるを得ない状況になりました。

我々職員も、何とか実施したいという思いで、最後まで可能性を探ってきただけに、断腸の思いで中止を決めました。部活動では、例年なら基礎を固める夏休みが、部活動中止期間と重なり、十分な練習期間もないままに、中体連秋季大会を迎えました。私もいくつかの会場を見て回りましたが、どの競技も練習不足を感じさせることなく、一致団結して競技している姿に感動を覚えました。六月の総合体育大会が楽しみです。

生徒会活動でも、三年生からうまくバトンを引き継ぎ、新たな伝統を築きつつあります。先日の三年生のお別れ行事でも、工夫を凝らした催しを企画し、たいへん思い出に残るものとなりました。

このように、コロナ禍のたいへんな一年間でしたが、大きな成長が見られた土々呂中でした。

県立高校一般入試が行われました

今月三、四日に県立高校一般入試が行われました。

内容は、学力検査（国理英社数）及び面接で、一日目は国・理・英の三教科、二日目は社・数の二教科と面接でした。本校からは八十五名の生徒が受検し、全員無事に受検することができました（ちなみに「じゅけん」には「受験」と「受検」の二種類の漢字が使われますが、県立高校の場合、「受検」が使われます）。学力検査は、県内すべての県立高校で同じ試験問題が使われます。一・二年生で学習する内容もかなり出題されていますので、ぜひ問題用紙に目を通してみてください。合格発表は十七日に行われました。

感動の「卒業式」でした

一・二年生の準備や片付けにも感謝

今月十六日に第七十四回卒業証書授与式を挙行しました。新型コロナウイルスの関係で、式に参列できたのは、卒業生と保護者、職員、送辞を述べた在校生代表生徒のみでした。

式の内容も、卒業式の歌や来賓祝辞等をカットし、縮小した形となりましたが、卒業生はたいへん立派な態度で式に臨み、感動的な卒業式となりました。特に、在校生送辞、卒業生答辞とともに素晴らしい、元生徒会長の尾崎優奈さんの答辞では、「土々呂中学校で良かった」ということばが特に印象に残り、うれしく思いました。

一・二年生の皆さんは、式に参加できませんでしたが、式場設営や清掃等で大いに貢献してもらいました。その頑張りに卒業生も感謝していました。

次年度は変更点があります

令和三年度の変更点です。一部を紹介します。

【延岡市全体として変更すること】

◇通知表配付が年間二回になります（今年度同様）。

◇夏季休業が八月一日～三十一日になります。

◇三学期制は変わりません。一学期末が七月三十一日、二学期ははじめが九月一日になります。

【土々呂中として変更すること】

◇「家庭訪問」は行いません。

その代わりに、三者面談を一・二年生は四月、三年生は七月に行います。ご協力お願いいたします。